

グローバルな垂直型一貫総合エネルギー企業として、
信頼に応え、継続して社会に貢献できる
コスモ石油グループをめざします。

コスモ石油株式会社
代表取締役社長 社長執行役員

森川 桂造



❖ コスモ石油グループの使命

2011年東日本大震災の被災と2012年6月に発生したアスファルト漏洩事故により、千葉製油所はほぼ2年間フル稼働ができておりません。アスファルト漏洩事故の原因究明と再発防止策を策定し、稼働再開に向けて注力した結果、2013年1月に原油処理を再開させることができました。改めて、製油所周辺の皆様をはじめ関係する多くの方に、大変なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。このようなことが二度と起きないように、何としても安全・安定操業の実現に向け、力を尽くしていく所存です。

私たちが扱う石油製品は「人の命」と「生活」を守る商品です。東日本大震災で再認識したように、灯油は人々に暖を、ガソリンや軽油は被災地に物資を運ぶ輸送燃料の役割を果たし、まさに人々の命を守りました。また、ペットボトルや衣料品といった生活必需品の多くは石油を原料としており、日常生活に深く浸透しています。

こうしたことを踏まえ、コスモ石油グループの使命は、生活に密接にかかわっている石油製品を「安定的にかつ高品質な状態でお客様にお届けする」ことであり、この使命を果たすべくグループ一丸となって取り組んでまいります。

❖ 第5次中期経営計画の基本方針

新中期経営計画では、「成長の基礎を固め、コスモ石油グループの磐石な経営基盤を確立していく5年間」をテーマに、4つの基本方針を策定しました。「石油精製販売事業における収益力の回復」「前中期経営計画で実施した戦略投資の確実な回収」「IPIC・HDO*とのアライアンス強化」「CSR経営の推進」です。

企業の社会的責任を果たせるよう、今まで以上にCSR経営を推進します。ルールにしたがって、誠実な業務遂行を推進すると同時に、PDCAの徹底で恒常的に業務改善に取り組む体質を浸透させます。

以上の取り組みによって、私たちは「グローバルな垂直型一貫総合エネルギー企業」をめざします。

* IPIC (国際石油投資会社)

中東産油国UAE (アラブ首長国連邦) 第一の首長国・アブダビが全額出資する政府系ファンド。アブダビ首長国外の石油、石油化学分野を主たる対象として投資し、自国産原油から派生する石油産業のバリューチェーン構築をめざして設立されました。

HDO (ヒュンダイオイルバンク株式会社)

2013年5月、緊急時の相互協力体制構築に関する覚書を締結。これにより、コスモ石油とHDOは、エネルギー供給事業者として、石油製品の相互融通などを含む協力体制を構築し、緊急時においても石油製品の安定的な供給に努めていきます。

●● 供給体制の再構築について

コスモ石油は1986年の合併以来27年間、現在まで4製油所(千葉、四日市、堺、坂出)の供給体制を堅持してまいりましたが、国内の石油需要は漸減し、将来においても同じ傾向が続くと想定されます。

このような環境のもと、各製油所の立地や規模など総合的な観点から検討を重ねた結果、当社の経営資源を3製油所に集中し、2013年7月にて坂出製油所の精製機能を停止することを決定いたしました。今後は3製油所で効率的な供給体制を構築し、安定供給と競争力の向上に努めてまいります。

精製機能は停止するものの、坂出製油所は西日本地域への石油製品の安定供給を果たすため、物流拠点機能のオイルターミナルとして事業継続いたします。精製装置の跡地活用についても、企業価値増大につながるあらゆる選択肢を検討してまいります。また、坂出製油所に勤務するグループ社員については、配置転換等により、コスモ石油グループ全体で雇用を確保するとともに、近隣地域の皆様への社会貢献を引き続き支援させていただく予定です。

●● 組織改定について

コスモ石油グループは、第5次連結中期経営計画の実行度を高めるため、組織改定を2013年6月25日付で実施いたしました。

「ユニット制」を導入し、本社の部署、支店・製油所などの事業所、関係会社を事業・機能ごとに集約します。新た

に8つのユニットを設置することで、戦略の立案と実行、および収益の責任を明確にし、事業単位での収益最大化を図ります。

また、全社のリスク管理を目的とした「リスクマネジメントユニット」を新設しています。リスクマネジメントユニットには、製油所の安全管理に特化した製油所安全部、および全社のリスクを一元管理するCSR環境部を新設し、当社グループ全体への牽制機能の強化をはじめ、製油所の安全・安定操業とリスク管理体制を強化します。

●● 信頼され社会に貢献できる企業に

2013年度より、5年間にわたる『CSR活動方針～ココロと安全の「満タン活動」～』がスタートしました。2017年度のゴールビジョン『信頼に応え、継続して社会に貢献できるコスモ石油グループとなる』を全社員が共有し、CSR活動方針の諸施策を推進してまいります。

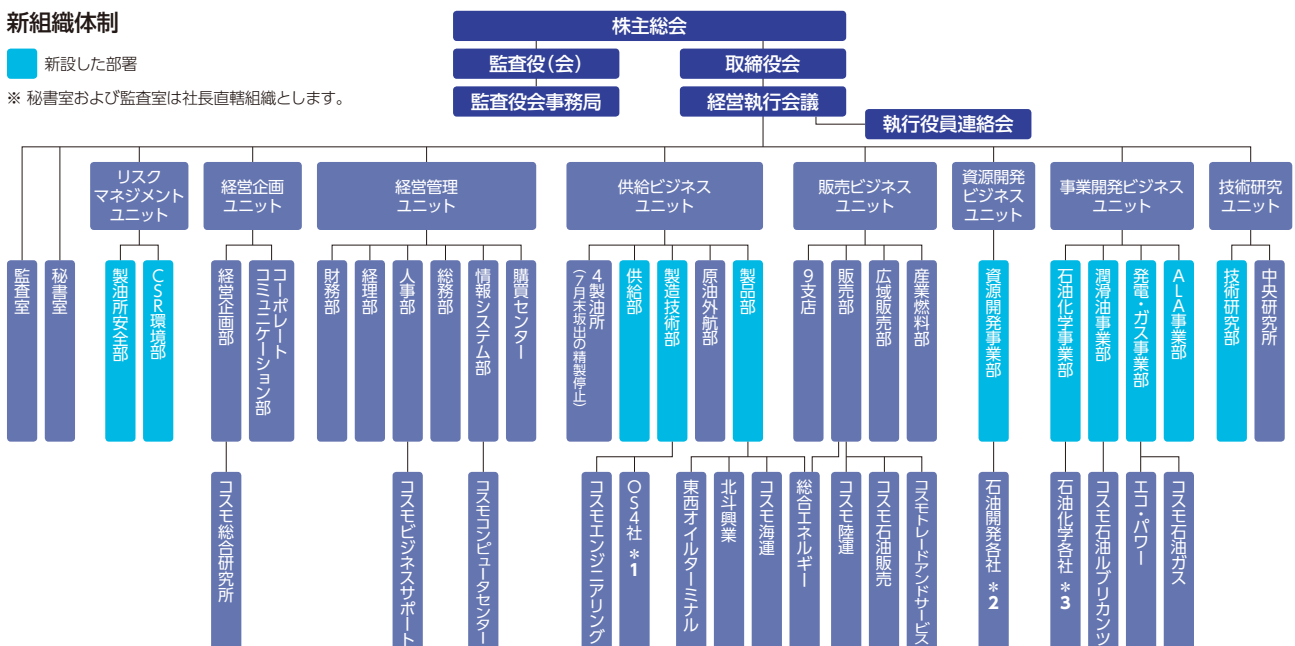
また、グローバル基準に則したCSR活動にするために、2006年より国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に参加しており、人権・労働・環境・腐敗防止など基本原則を尊重したCSR経営に積極的に取り組んでいます。この基本原則は「コスモ石油グループ企業行動指針」にも通じており、社会的責任のある経営を推進し、持続可能な社会づくりに貢献したいと考えています。

2013年度におきましては、コスモ石油グループ一丸となって、製油所の安全操業・安定供給の使命を果たし、企業としての社会的責任を果たすべく、これまで以上にCSR経営を推進することで社会から信頼されるエネルギー企業をめざしていく所存です。

新組織体制

■ 新設した部署

※ 秘書室および監査室は社長直轄組織とします。



* 1 OS(アウトソーシング)4社: コスモペトロサービス、コスモテクノ四日市、関西コスモ物流、坂出コスモ興産

* 2 石油開発各社: アブダビ石油、カタール石油開発、コスモアシユモア石油、合同石油開発

* 3 石油化学各社: コスモ山石油、丸善石油化学、CMアロマ、Hyundai Cosmo Petrochemical